

様式 2

峡北広域行政事務組合パブリックコメント手続きを行う案件
に対する意見結果

提出いただいたご意見及びそれに対する組合の考え方について、次のとおり公表します。

※ 峡北広域行政事務組合パブリックコメント制度実施要領では、「提出された意見等に対する個別の回答は行わないものとし、提出された意見等のうち類似の意見及びこれに対する組合の考えをまとめて公表するものとする。この場合において、計画等の是非のみの意見等については、公表しないことができる。」と規定していることから、これに基づいて類似する意見をまとめています。

【提出いただいたご意見の集計結果】

案件名	峡北消防本部消防署所適正配置計画（案）			
意見の 提出者数	14人	意見の 受付状況	持参	人
			郵便	人
意見の 提出件数	8件		ファックス	7人
			電子メール	7人

【提出いただいたご意見とそれに対する組合の考え方】

No. 1	
ご意見	<p>消防の業務は住民生活に密接であり、重要な問題であることから、トップダウン方式でなく、住民が納得する説明を小淵沢町で開催することを要望する。</p> <p>また、住民への周知の方法と住民説明会会場の場所の選定について、どのような経緯があったのか。</p>
組合の考え方	<p>消防の業務は住民生活に密接していることから、計画（案）については、多くの住民の方々にご理解をいただくために、当組合ではパブリックコメント制度実施要綱を制定し、計画（案）を公表し、パブリックコメントを実施してきました。</p> <p>また、パブリックコメントの実施にあたり、組合ホームページでの公表及び周知と、構成市の広報誌を活用し周知を図るとともに、北杜市にご協力をいただいた中で、各町の区長会や消防団への説明を行い、更に周知についてご協力をお願いするなど、住民の皆様</p>

	<p>にご理解いただくための取り組みに努めてきました。</p> <p>また、小淵沢町地区からは地域委員会においても同様な説明を求められたことから、区長会と同様の対応をさせていただきました。</p> <p>最終的な住民説明会の会場については、北杜市内の多くの住民の方々に参加いただけるよう、市内の中央に位置する長坂総合支所が最善と判断したものです。</p>
No. 2	
ご意見	<p>高齢者が多く居住する地域では今後ますます高齢化が進み救急体制は必要不可欠となります。特に、コロナ禍での医療問題を見ても、この時期に署所の再編を進めることに不安を感じている。</p>
組合の考え方	<p>計画（案）は、老朽化した消防署所の整備、建設にあたり、将来を見据えた消防サービスの効率的な運用による消防力の維持・強化を目的に検討を進めてきたものです。</p> <p>また、コロナ禍にあって不安を抱く方もあるかと思いますが、計画（案）は消防業務の縮小や消防体制を低下させるものではなく、署所を集約することにより、初動体制や消防サービスの充実を図っていくものです。</p>
No. 3	
ご意見	<p>住民にとって必要不可欠なライフラインの一部ともいえる小淵沢分署が廃止されることにより、計画（案）では北杜消防署と新たな分署で小淵沢町をカバーすることになり、現在より5分程度救急到着時間がかかると計画では試算されていて不安を感じる。</p> <p>小淵沢が遠隔地だから、効率化を図るために4署に減らすという行政のスリム化させる方向ではなく、人員増で改善するなどして現状の5署体制を維持することが出来ないか。</p>
組合の考え方	<p>現状の北杜市内の消防サービスについては、（出動から現場到着までの時間）は約15分でカバーができる体制となっており、計画（案）による1署3分署に再編した場合であっても、概ね現状維持ができる計画となっています。</p> <p>計画（案）は、公共施設の維持管理費や人件費に費やせる財源に</p>

	<p>限りがあることを考慮しながら、将来を見据えた消防力の維持・効率化、北杜市全体の消防サービスの平準化などを念頭に、人口の推移、消防業務（警防・救急、災害救助等）の状況、地理的条件、既に基幹消防署として整備している北杜消防署の位置を基に検討した結果によるものです。</p> <p>このことから、小淵沢町についても出動・応援体制の更なる強化（意見No.4に対する組合の考え方：対応策）を講じながら、住民の皆様の安全安心な生活の実現に向けた消防業務に努めてまいります。</p>
No. 4	
ご意見	<p>消防署の活動は全ての時間を可能な限り短縮させることが要求されます。分署が廃止となる小淵沢町への救急車等の走行時間の短縮が図れる対策を講じる必要がある。</p>
組合の考え方	<p>小淵沢町は、北杜消防署と統合分署の管轄エリアとなります。このことから、小淵沢町の消防需要への対応として、次の対応策を講じていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基幹消防署である北杜消防署と統合分署からの出動を併用します。 ② 最新の指令システムにより、車両の動態（位置）を管理し、災害現場から直近の車両を出動させる直近選別を行い、到着時間の短縮を図ります。 ③ 積雪、凍結等の道路状況を事前に把握し、状況に応じた出動を行います。 ④ 北杜消防署に隣接する高速道路パーキングエリアの緊急車両入口から、高速道路を活用して現場到着時間の短縮を図ります。 ⑤ ドクターヘリを活用するなど、医療機関と連携した救急サービスを積極的に行います。
No. 5	
ご意見	<p>計画（案）では小淵沢分署が廃止となり、国道20号線沿いへ移転することから、統合分署の場所設定については熟慮することが必要と考える。</p>

組合の考え方	<p>統合分署の建設場所については、適正配置計画に沿って、道路アクセス等にも考慮した消防業務に適した場所を北杜市と協議する中で、最寄りの公有地等を優先して検討してまいります。</p>
No. 6	
ご意見	<p>署所適正配置計画は、消防本部・韮崎消防署を整備する時点で立案すべきではなかったのではないかと。</p>
組合の考え方	<p>本組合では、老朽化が著しかった消防本部及び韮崎消防署の整備を平成29年度に終え、その後、国が示した「インフラ長寿化基本計画」に基づき、平成30年度に「峡北広域行政事務組合公共施設等総合管理計画」を策定しました。</p> <p>この計画に基づいて、老朽化や耐震不足等により施設整備を進める必要があった北杜市内の5署所についても、再編整備をするための検討を進めてきたところです。</p>
No. 7	
ご意見	<p>分署の初動優先ではなく、同時出動も可能な職員配置となるように他の分署の集約も図り、災害事案に対しても充実した体制にすべきではないかと。</p>
組合の考え方	<p>本組合では、北杜市内の分散した消防力を集約し、初動の充実と消防力の強化につなげるため、1署2分署への再編を検討しましたが、住民が不安を覚える拙速な再編は適当でないとする「消防力適正配置検討委員会」からの提言を踏まえて再検討を行い、概ね現状が維持できる1署3分署への再編が適当としたところです。</p> <p>また、再編にあたっては、基幹消防署である北杜消防署の体制を充実させ、初動体制の充実と消防力の強化、更には再編後の北杜市内の消防サービスの平準化が図れるよう検討し、計画（案）としてまとめたものです。</p> <p>計画（案）による再編を実現することで、基幹消防署を中心とした災害事案への応援・受援体制の確立、強化も図れるものと考えています。</p>

No. 8

ご意見

再任用制度を利用し、職員の増員は検討できないか。

組合の考え方

本組合では、現状、再任用制度を活用し、職務経験を生かした組織体制の確立に努めています。

今後は、定年延長制度も導入されることから、年齢等に配慮した適材適所への配置を検討することとなります。

なお、定年延長により職員の高齢化が進みますので、第一線での消防業務に携わる職員の確保も必要となることから、限られた財源であることも視野に入れながら、職員数の適正化の検討も進める必要があると考えています。